

高齢者福祉施設における MA-T 脱臭効果の実証（要約版）

一般社団法人日本 MA-T 工業会

生活空間等におけるにおい（臭い、匂い）のコントロールに関心が集まるなか、本実証においては、その重要な役割を担う消臭剤等において期待される元のおいそのものを除去してしまう効果、すなわち、脱臭効果に注目し、新たに開発・実用化された MA-T の脱臭効果にフォーカスする。より高いレベルでの脱臭効果が期待される高齢者福祉施設、特に特別養護老人ホームを対象として取り上げ、MA-T の脱臭効果について、試験・評価を実施した。

脱臭効果は、各試験場所において MA-T を散布適用した後の所定時間後の臭気強度（臭気判定士による臭気強度の判定：感応試験）とする。試験場所は

特別養護老人ホームケアレジデンスふじみ野の①-1. 汚物処理室、①-2. 居室 103 号室
特別養護老人ホームケアレジデンス立川の②-1. 汚物処理室、②-2. その汚物処理室に置かれた 90L ポリバケツ

である。試験対象となる液剤は

①MA-T 濃度：800 ppm

②水

を用いた。

得られた試験結果の概要は、以下の通りである。試験場所①-1 では、MA-T 800 ppm 散布前の臭気強度 2 に対し、MA-T 800PPM を散布した後は、臭気強度 1～0 に下がった。試験場所①-2 では、散布前の臭気強度が低レベルの 1 であったが、MA-T を散布した後はさらに臭気強度が 0 に下がった。

試験場所②-1 では、廊下や各居室と完全な間仕切りができない状態であり、MA-T 800 ppm 散布前の臭気強度が 2 に対し、散布後は臭気強度が 1 に下がった。しかし、間仕切りがないことから 10 分後・20 分後・30 分後は臭気強度が 2 に戻った。試験場所②-2 では、汚物処理室の汚物を実際の投入しているポリバケツの臭気強度は 4 であったが、散布 10 分後には臭気強度が 2 程度まで脱臭された。

以上の検証の結果から、MA-T は特別養護老人ホームの汚物処理室、および居室のにおい、並びに特別養護老人ホームの汚物処理室における汚物入りのポリバケツのにおいの何れに対しても、脱臭効果を示すことがわかった。MA-T について、高齢者福祉施設の特別養護老人ホームにおいて、有効な脱臭効果を示すことが確認された。

以上